

# 徳島の子ども居場所から

これは、徳島県内の「子どもの居場所」の経験者や実践者らの話しに耳を傾け、居場所を持つ豊富な意義とそれを実践するヒントを学ぶイベントです。

半年後にこども家庭庁が発足し、来年秋頃にはこども施策の重要項目を盛り込んだこども大綱の閣議決定も想定されます。そして市町村では大綱を動案したこども計画の策定が努力義務に。これに重要な要素として子どもの貧困対策が一元化されます。

子どもの貧困対策の中でも「子どもの居場所」は、安心できる場づくりを通して日常生活の支援や課題の早期発見、支援機関との連携といった重要な役割を果たしています。徳島県は3年前に居場所の推進ガイドラインを策定。産官学が連携してその立ち上げや運営の支援にあたっています。また、去年、子ども食堂の民間ネットワークがNPO法人化されるなど、コロナ禍の逆境の中でも県内で「子どもの居場所」を広げる動きは着実に増加中。中には、かつて支援を受けた子どもが成長して運営側に回り、過疎の町を活性化させるという好循環をもたらした成功事例も。ぜひ皆さんの参加をお待ちしております。



**開催日** 2022年10/28(金) **場所** 徳島県立総合福祉センター 5Fホール  
〒770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地

**時間** 13:00~16:00

**定員** 会場 100人 / オンライン 100人 **参加費** 無料

**プログラム**

- ・基調講演（鳴門教育大学・大学院学校教育研究科 木村直子准教授）
- ・子ども時代に居場所を経験した若者の声
- ・居場所実践者らによるリレートーク・パネルディスカッション 他



鳴門教育大学・大学院学校教育研究科准教授 木村直子さん  
(基調講演講師/パネルディスカッションコーディネーター)

子どもの「ウェルビーイング」は健康で安定した生活が送れている状態」を実現するため学際的な視点から研究を進める。徳島県の子ども居場所づくりのアドバイザーとして、鳴門教育大学が県・県社協と連携して取り組む子どもの居場所づくりにおいてスーパーバイザーを担い、推進の中心的役割を果たしてきた。

筑波大学・人間学群教育学類4年 川邊笑さん  
(居場所を経験した若者の声 発表者/パネリスト)

牟岐町出身。過疎が進む町で固定された人間関係による生きづらさを感じる中、中学生のときに地元出身の大学生らが実施したキャリア教育プログラムを第1期生として経験。家庭や学校とは別の関係性で過ごす意義に目を向けるきっかけに。現在、大学を休学し同町で子どもの居場所事業の開設・運営にあたる。

特定非営利活動法人牟岐キャリアサポート理事長 大西浩正さん  
(リレートーク登壇者/パネリスト)

小松島市政策監などを経て徳島県庁を早期退職し現職に。きっかけは中学生だった川邊さんが参加した牟岐町でのキャリア教育プログラム。運営の大学生らに伴走する中、中間支援組織の設立を決意。7年の活動が実を結び、居場所の受益者から担い手となる若者が現れるなど人材の好循環が生まれている。

特定非営利活動法人徳島こども食堂ネットワーク理事長 佐伯雅子さん  
(リレートーク登壇者/パネリスト)

去年県内のこども食堂の民間ネットワークを法人化し理事長に。コロナ禍で停滞が危ぶまれた活動も、フードパントリー（食品の無償提供）への切り替えや子ども向け宅食サービスにより継続。去年の民間調査で徳島県のこども食堂増加率が全国トップとなる原動力に。「子は認めてくれる者の存在で立ち直れる」。

医療法人秋田会秋田病院 臨床心理士 高川明美さん  
(リレートーク登壇者/パネリスト)

小中学校のスクールカウンセラーなど義務教育現場で心の専門家として長年活動。その中で不登校やひきこもり状態で制度のはざまにいる若者への支援の必要性を認識。当事者を主体に地元自治体の関係部署などと連携したNPOの立ち上げ・運営を支援。今年に入り一軒家を活用した居場所の開設準備中。

社会福祉法人徳島県社会福祉協議会  
子どもの居場所づくり主任コーディネーター 金平和江さん  
(リレートーク登壇者/パネリスト)

県や鳴門教育大学といった産官学の連携を担う中核として、県社会福祉協議会に開設された専門の相談窓口で子どもの居場所運営者を継続的にサポート。会場・食材の確保先や助成制度といった社会資源情報を集約した支援バンクなどを開設。

## 子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン in 徳島

主催：公益財団法人あすのば 共催：徳島県 後援：内閣府・社会福祉法人徳島県社会福祉協議会・国立大学法人鳴門教育大学・徳島市・鳴門市・小松島市・阿南市・吉野川市・阿波市・美馬市・三好市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町・つるぎ町・東みよし町・

特定非営利活動法人フーカースコープ 助成：公益財団法人キリン福祉財団



FAX 03-6277-8519

「子どもの貧困対策 全国 47 都道府県キャラバン in 徳島」参加申込書

日時：2022年10月28日（金）13時～16時（12時30分から受付開始）

会場：徳島県立総合福祉センター 5F ホール（住所：徳島市中昭和町1丁目2番地）

参加方法：会場参加 or オンライン参加（どちらか○印を）

オンライン参加の方には、前日までに Zoom の ID・パスコードをメール致します

お名前（ふりがな）


お住まいの市町村

ご所属・お立場

電話番号

E-mail

※いずれも新型コロナウイルス対策の一環で必要な情報のため、ご理解ご協力の程お願い致します。  
ご来場の際にはマスク着用をお願いします。体温が37度5分以上の方や体調不良の方は参加をご遠慮ください。

お申込みはこちらからの インターネットでの	QRコードから 申込みフォームへ	公益財団法人あすのば <b>検索</b>	〈お問い合わせ〉 公益財団法人あすのば 〒107-0052 東京都港区赤坂 3-21-6 河村ビル 6F 電話：03-6277-8199 FAX：03-6277-8519 mail：info@usnova.org
		or	

子どもの貧困対策 全国 47 都道府県キャラバン と あすのば について

本事業は、全国各地で子どもの貧困対策を推進することを目的として2016年にスタートしました。これまでに44都道府県で開催され、合計4,100人が参加。支援団体や地方自治体などが結びつき、つながりをさらに深めることを重視してきました。実効的な対策の推進には産官学の連携が欠かせないためです。当財団がネットワークを広げ実情を学び取ることで、国などに向けて行っている政策提言をより実態を踏まえた内容にバージョンアップしていくことも狙いです。

あすのばは、子どもの貧困をなくすことを目指して 2015 年に設立された財団です。その名前は、「US（私たち）」と「NOVA（新しい・新星）」を組み合わせたものです。子どもをど真ん中にした社会の実現のため、人々がつどう「明日の場」という意味。そして、子どもたちにひとりぼっちじゃないと感じてもらいたい、「私たち」と一緒だよと感じてもらいたいという願い、また、多くの方々に子どもの貧困を自分事に感じてほしいという願いでもあります。そしてなによりも、すべての子どもたちが明日に希望を持って、輝く新星のような人生を送ってほしいという強い願いがこめられています。